

小さな  
暖簾の奥で

御粽司・  
川端道喜と  
わたし

目次

まえがきにかえて

第一章 御粽司「川端道喜」の仕事

小さな暖簾の奥で

引き算の菓子

起請文の教え

京都で生き続けて

人に支えられ、人に恵まれ

2

11

12

14

18

20

23

御粽司「川端道喜」の和菓子

25

土の子供たち——絵を描くということ

28

第二章 川端道喜とわたし

33

一月の風景 土の子供たち

34

二月の風景 子供の力

44

三月の風景 自然の声

52

四月の風景 人類の川

60

五月の風景 視線

68

六月の風景 手、手紙

76

七月の風景 伝える。守る

84

八月の風景 奇跡

92

九月の風景 救い

100

十月の風景 CHILDREN OF MEN

110

十一月の風景 無名

118

十二月の風景 家族

126

おわりに

136